一般社団法人日本児童養護実践学会
総会・第11回研究大会のご案内

大会テーマ

「子どもの未来をはぐくむ社会的養護の構築」

2019年2月23日（土）～24日（日）　鳥取県 とりぎん文化会館

会　場　とりぎん文化会館
〒693-0023　鳥取県鳥取市尚徳町101-5

大会長　藤野興一
（鳥取こども学園理事長、前全養協会長）

参加費　会員　無料、非会員　3,000円
（大学生・院生は1,000円）
講演のみ参加は2,000円
情報交換会　5,000円

申込先　一般社団法人日本児童養護実践学会事務局
（シムウェルマン株式会社内）
Tel　03-5211-2858　　Fax　03-5211-2859
Email　info@yougojissen.jp

参加締切　2019年2月1日（金）
※講演・分科会は、当日参加も受け付けます

プログラム
【23日（土）】
12:00～　受付
13:00～　総会
14:00～　開会式
14:15～　対談（藤野興一氏、芹沢俊介氏）
15:45～　休憩　＋　質問事項記入
16:00～　質疑応答
17:00　　終了
18:00～　情報交換会　海陽亭
【24日（日）】
9:15～　　分科会（発表20分×質疑10分）×4
第1分科会　社会的養護における子どもの権利擁護
第2分科会　社会的養護における人材育成
第3分科会　社会的養護における地域支援（虐待内容も含む）
第4分科会　社会的養護における生活支援・自立支援
11:45　　分科会終了（各分科会で解散）
12:00　　研修会終了

一般社団法人 日本児童養護実践学会　第11回研究大会 開催のご案内

当学会が発足して10年が経過しました、社会的養護の現状を検証しつつ、子どもの権利の保障、家庭養育の優先原則の実現のために実践者と研究者によって、我が国の児童養護の歴史的変遷、アジアやアメリカ、イギリス等諸国の児童福祉施策を検証しつつ、新たな子ども家庭福祉の構築をめざして実践研究を重ねてきました。

しかし、我が国の重篤化する児童養護ニーズに対応する養育資源としての施設、里親そして人財の問題改善は、今や急務であります。

今こそ、実践研究者に蓄積してきた養護原理とその内容をふまえた、あらたな社会的養護のイノベーションが求められているのではないかと思います。

今回は、前全養協会長の藤野先生が大会長をご担当下さり、鳥取県で開催することになりました。この研究大会における発表とご参加を心より期待し、ご案内いたします。

一般社団法人 日本児童養護実践学会　理事長 高橋 利一

とりぎん文化会館 交通のご案内

◇開場までのアクセス
【徒歩で】ＪＲ鳥取駅から若桜街道を県庁方向へ約２０分
【空港から】1. 鳥取空港からタクシーで１５分
2. 空港連絡バスで１５分「県庁日赤前」下車すぐ

分科会発表者募集

申込期限　2018年12月14日（金）
題名とレジュメをメールで事務局に送付
※予定者は事前に事務局へご連絡ください。
レジュメや資料の様式についてお知らせいたします。

一般社団法人日本児童養護実践学会事務局
（シムウェルマン株式会社内）
TEL 03-5211-2858　FAX 03-5211-2859
Email info@yougojissen.jp

発表者資格　発表時に会員であること、または、入会の申込みをしていることとする。

テーマ区分
第1分科会　社会的養護における子どもの権利擁護
第2分科会　社会的養護における人材育成
第3分科会　社会的養護における地域支援（虐待内容も含む）
第4分科会　社会的養護における生活支援・自立支援

一般社団法人日本児童養護実践学会　第11回研究大会　参加申込書

お申込FAX番号　03-5211-2859　一般社団法人日本児童養護実践学会事務局行き

会員　・　非会員（会員No.　　）		氏名		所属		職名	
住所	〒　　（　自宅　・　所属先　）						
電話		E-mail	PCのE-mailアドレス：				
FAX			緊急の場合のE-mailアドレス：				

参加項目（参加される項目に○をつけてください）
1. 総会　2. 基調講演　3. 分科会　4. 情報交換会
（1～3：会員無料（施設会員は何名でも可）、非会員一人3,000円、学生・院生一人1,000円、2のみ参加：非会員2,000円・学生・院生1,000円、4：5,000円）

会員の方へ（※当日、総会をご欠席される方は、必ず委任状を提出してください。）

委　任　状

私は、一般社団法人日本児童養護実践学会第11回総会の議決を（　　）に一任いたします。

平成　　年　　月　　日　　署名　　印

一般社団法人日本児童養護実践学会第１１回総会・研究大会日程

２０１９年２月２３日（土）とりぎん文化会館

12:00　受付　（第１会議室前）
13:00　総会　（第１会議室）
14:00　開会式　（第１会議室）
　　大会長挨拶　藤野興一
　　来賓祝辞　鳥取県福祉保健部子育て王国推進局長　木本美喜 様
14:15　対談　（第１会議室）
「虐待を考える　ー受けとめ手の不在をめぐって」
　　講師　芹沢俊介 氏(評論家)
　　藤野興一 氏(社会福祉法人鳥取こども学園　理事長)
15:45　休憩
16:00　質疑応答
16:45　終了

18:00　情報交換会　天然海水いけす「海陽亭」(鳥取市賀露町西 3 丁目 27-1)
19:30　終了予定

２０１９年２月２４日（日）とりぎん文化会館

9:00　分科会受付
9:15　分科会開始

第１分科会　【社会的養護における子どもの権利擁護】会場：　第５・６会議室
司会：西井啓二(社会福祉法人鳥取こども学園　企画広報室長)
１．「人権を護る体制づくり　～護られるべき子どもと大人の人権～」
　　吉村紗由香（(社)和歌山県社会施設事業会こばと学園　人権擁護推進員）
２．子どもの権利擁護機関の設置構想
～カナダ・オンタリオ州アドボカシー事務所活動手順及び過程の調査報告～
　　藤野謙一（鳥取養育研究所　事務局長）
　　清水暁子（鳥取養育研究所　役員）
３．ライアソン大学子ども・若者ケア学コースでの養成課程と我が国の保育士養成課程との比較研究
　　畑千鶴乃（鳥取大学地域学部地域学科、准教授）
４．未定
　　未定（至誠学園）

第２分科会　【社会的養護における人材育成】会場：第１会議室
司会：花川治応(児童心理治療施設 鳥取こども学園希望館　施設長)
１．「児童養護施設平安徳義会養護園の人材育成」
　　木塚勝豊（大谷大学　准教授）
２．「確かな学びを実感できる施設実習期間を過ごす権利
　―指定保育士養成施設として事前にできることは何か―　」
　　小田桐忍(聖徳大学児童学部　教授)
３．社会福祉法人　鳥取こども学園の職員育成についてー子どもに育ててもらおうー
　　水野壮一（児童心理治療施設 鳥取こども学園希望館　副施設長）
４．働き続けられる職場作りの研究
　　神戸萌祐（東京育成園　居室担当ケアワーカー）
５．東京育成園における人材育成
　　岩田祐一郎（東京育成園　里親支援専門相談員）
６.続・施設職員として長く働き続けるための調査・研究　集計結果と考察について
　　山﨑明夫（共生会希望の家　ユニットリーダー）

第３分科会　【社会的養護における地域支援（虐待内容も含む）】会場：第２会議室

司会：竹中成代(乳児院 鳥取こども学園乳児部　施設長)

１．滋賀県の里親支援の現状と課題　～里親アンケート調査から～
　　森本美絵（京都橘大学　教授）

２．児童家庭支援センター一時保護所の取組について
　　川口美由紀(こども家庭支援センター「希望館」一時保護所　ホーム長)
　　竹下敏(こども家庭支援センター「希望館」一時保護所　児童指導員)
　　米田怜美(こども家庭支援センター「希望館」一時保護所　事務員)

３．社会的養護に暮らす子どもの教育保障問題の解決に向かって
　　濱崎康平（児童心理治療施設 鳥取こども学園希望館　通所部門チーム長)
　　浅井慎子（児童心理治療施設 鳥取こども学園希望館　通所部門チーム長)

４．鳥取県における里親支援の取り組み
～里親・施設・行政の、強固なパートナーシップ構築を目指して～
　　遠藤信彦（里親支援とっとり　所長)

５．サテライト型児童養護の試み
　　未定（至誠学園)

６．未定
　　未定（至誠学園)

第４分科会　【社会的養護における生活支援・自立支援】会場：第４会議室

司会：田中佳代子(児童養護施設 鳥取こども学園　施設長)

１．児童養護施設等、入所型児童福祉施設における児童間性暴力の実態に関する研究
～予備的調査の結果から見え隠れするもの～
　　遠藤洋二（関西福祉科学大学　教授)

２．児童養護施設におけるグループワーク実践
　　木村秀（共立女子大学　専任講師)

３．性を照れずに語れる職場作りの実践報告
　　佐久間裕子（希望館八幡の家　　児童指導員)

４．退所児童等アフターケア事業 ひだまりの取組み
　　山根潤子（一般社団法人ひだまり(退所児童等アフターケア事業)就労支援員)

５．家族再統合のための具体的な援助技術について　～ケアワークの立場から～
　　早坂舞子（東京育成園　居室担当ケアワーカー)

11:45　分科会終了(予定)・分科会毎に閉会